



頑張る本学の学生たち!!

～令和4年度 公立学校園への合格率70%upを達成しました～



教職支援
センター長
栗原 幸正

令和4年度、本学での公立学校、幼稚園・保育所の合格者は70%越え(公立学校合格率70.0%、公立幼稚園・保育所合格率71.3%)を成し遂げました。そして、学生自身の夢に沿った教育方針をもつ私立の校園等への就職も100%を達成しております。さらに、健康栄養・看護・子ども教育各学科の卒業生からも公立諸学校の採用試験に合格者を出すことができました。これはひとえに教育職・保育職への就職に向けて真摯に取り組んだ学生の努力の証とすることができます。もちろん、その過程では就職を考えるに際しての不安や厳しさに押しつぶされそうになった学生が少なからずいたことも事実です。そのような学生に対して、開設10年目を迎えた教職支援センターの教職指導主事をはじめとするスタッフが一丸となり、これまで蓄積したノウハウを駆使して支援して参りました。また、関連する学科の先生方との連携の下、入学時からの学修支援や各種ガイダンスを行うと共に、3年次からは採用試験対策講座等も実施いたしました。そして、4年次では、出願支援や面接・模擬授業等の採用試験サポートや着任に向けての講座を実施し、学生に寄り添うことで、学生の安心感を生み出すことができたのだと確信しております。

特に、教育職・保育職に就職する4年生が、社会人としての新たな環境を目前に控え、最も不安と戦う1月～3月には「赴任前講座」を実施し、教育・保育の校園における自己管理や保険、税金、就労、労働団体等に係る教養育成を行いました。そうした過程を踏むことで、高崎健康福祉大学の学生を教育・保育の現場で即戦力になる教員・保育士として位置づける事に大きく貢献できたと自負しております。下の写真は「赴任前講座」の全プログラムが終了した後の集合写真です。どの学生の表情にも、明日に向けての夢と希望が満ちあふれております。

令和5年度は、上記の学生支援に加え、地域貢献として有償学生教育ボランティアのとりまとめや、教職指導主事ならびに学科教員等による校園等の研修会や講演会へのサポートの充実を図っていきたくと考えております。これまで同様、変わらぬご支援の程をどうぞよろしくお願い申し上げます。

保育職に赴任する4年生



学生による
ボランティア活動
(ICT)



学生は、3種類のボランティア活動「ICT支援(部活指導)」「学カアッソ」を行っています。

教育職に赴任する4年生



教職支援センターは9号館の1階にあります。



教職支援センター

学生支援事業①⇒進路相談・各種面接・採用試験サポートの実施
学生支援事業②⇒予備校が実施する採用試験対策講座や模擬授業への参加支援

学生を応援します

現場の先輩達の
生の声を聴く会を
設定します!

小学校、中学校…、
幼稚園、保育園…、
進路に悩みを持つ
学生に優しく丁寧に
寄り添います!



小学校で
子どもたちと
関わります!



教員免許状一括申請・保育士登録関連事業

卒業年次生の便宜を図るため、各学生からの申込書類を一括して関係機関に申請する業務を行っています。

そのため教員免許状については、学位記授与式当日に受け取ることができます!

教職課程の自己点検・評価事業

文部科学省が推進する教職課程の点検や評価を実施し、本学の教職課程の質の向上に取り組んでいます!その結果、所定の審査に合格し、完了証を交付されました。

各種有償ボランティア窓口事業

高崎市内の小学校を中心に、子どもたちの支援を目的とした各種有償教育ボランティアの紹介・斡旋を行っています。参加した学生は、子どもたちとのふれあいを通じて教育職・保育職に対する自らの資質を高めています!

教職履修カルテに関する先進的な取り組み

教職課程に必須とされる履修カルテについては、他大学ではあまり例のない独自のクラウドシステムを活用し、学生や教員の利便性向上と情報の一括管理を図るなど、先進的な取り組みを行っています!

実習に関する調整事業

3学科に及ぶ教職課程履修者の各種実習先の実態等を踏まえ、学生が無理なく円滑に実習ができるよう、実習期間の調整業務等も行っています!



教職支援センター 令和5年度スタッフの紹介

センター長	栗原幸正
副センター長	野田敦史
専属教員	北村陽
教職指導主事(保育職)	伴内弘美・田胡敏子
教職指導主事(教育職)	平林茂・三村国宏
	後藤章・中村秀樹
専任事務職員	針谷和穂子

「教育職・保育職等で働く!」という夢を実現した

健大卒業生からのメッセージ

Message from Graduates



保育士

前橋市 公立保育所

西村 夏紀さん (令和4年度卒)



私は、大学に入学した時から公立の保育士になりたいと考えていました。その為、受験前から頻りに教職支援センターの先生方におすすめの参考書や過去問について伺ったりアドバイスを頂いたりしていました。受験期には、面接練習や出願書類の添削に関する的確なアドバイスを頂けたので自信が付き、試験当日は安心して試験に臨むことができました。健大の先生方はとても親身になって寄り添ってくれます。進路について悩みや不安を抱えていたら、是非相談してみてください。きっと前向きな気持ちになれると思います。

これまで、周りの友人や先生方に支えられたおかげで合格することができました。感謝の気持ちを忘れずに、持ち前の笑顔と明るさを生かして子どもにも保護者にも慕われる保育士になれるように頑張ります。

養護教諭

東京都 公立小学校

持田 みどりさん (令和4年度卒)



私は、3年生になってから採用試験対策講座に参加し、模試を計画的に受験してきました。看護師課程と養護教諭課程の両立に加え、教員採用試験対策をするということは決して容易ではありませんでした。しかし、同じ教師を目指す仲間と共に励まし合い、支え合いながら乗り越えることができました。

また、養護教諭課程や教職支援センターの先生方に、指導案の添削や面接練習など一人ではできない実践的な指導やアドバイスを何度もいただきました。先生方の丁寧で熱心な指導と手厚いサポート体制があり、非常に恵まれた環境であったと思います。この感謝の気持ちを忘れず、子どもの目線に立ち、寄り添える養護教諭となれるよう努力を重ねていきたいと思っています。皆さんが素敵なお先生になれるよう応援しています。

栄養教諭

茨城県 公立小学校

星野 凜奈さん (令和4年度卒)



私は、学校で毎日食べる「給食」を通じて、学校を「子どもたちにとって通いたいと思える場所にしたい」「子どもたちの成長を食の視点から支えたい」と願い、栄養教諭を志望しました。

私の学年では栄養教諭を目指す学生は私一人であり、倍率が他の校種よりも高く、私にとってはハードルが高すぎる受験でした。しかし、教職支援センターが週1回開催して下さる対策講座や東京アカデミーの講座、模擬試験等に参加させていただき、努力し続けることが出来ました。また、子ども教育学科や看護学科の学生に混じって対策講座に出席することで、常に刺激を受けながら受験勉強に励むことが出来ました。この受験シーズンで夢に向かって努力したときの気持ちを忘れずに、子どもたちの成長に携わっていきたくです。

保育士

長野県 児童発達支援センター

林 杏優さん (令和4年度卒)



私は、就職先を決めるにあたり、発達支援に力を入れている園に就職したいと強く思っていました。4年生の8月まで私立の保育園に就職するか、公務員として保育士になるか悩んでいました。教職支援センターの先生方は親身に相談に乗って下さり、「自分のやりたいことを大切に」という言葉に背中を押され、自分に合った就職先を見つけることができました。

試験の際にも面接練習等、後押しを沢山いただき、自信をもって試験に臨むことができました。私にとって教職支援センターは、不安な気持ちが和らぐ安心できる場所でした。

自分で選んだ場所で、大学で学んだことを活かしながら子どもたちと共に成長することができるよう努力していきたいと思っています。

幼稚園
群馬県 公立幼稚園
教諭 木村 珠李亜さん (令和4年度卒)

私が公立幼稚園に通っていた当時、担任の先生が優しく自分の気持ちを受容してくれた経験から憧れを抱き、幼稚園教諭を目指しました。公立の壁は高いという現実を知り、自信の無さから諦めようとしたのですが、教職支援センターの先生方や仲間と一緒に頑張る環境があり、自分の夢を叶えるためにも挑戦していこうと強い気持ちを持って試験勉強に取り組みました。教職支援センターの先生方に、小論文や面接練習などを見てもらい、ご指導していただくことが強みにもなりました。実技試験ではピアノがあり、大学からピアノを始めた私は不安でいっぱいでしたが、毎日練習したり、先生方に見てもらったりしたことで本番でも胸を張って弾くことができました。諦めずに学び続け、自分らしく子どもと関わっていきたいです。



教諭
埼玉県 公立小学校
浦野 翼さん (令和4年度卒)

私が小学校の教員になりたいと決意したのは、最後の進路面談が行われた大学3年の冬頃でした。進路面談では自分の進路について教職支援センターの先生方が親身になって考えてくださり、抱え込んでいた不安な気持ちが少しずつなくなっていく、教員採用試験に向けて頑張ろうと思うことができました。



また、教員採用試験対策講座においても教職支援センターの先生方には手厚くサポートしていただきました。特に二次試験対策では、自分だけで練習することのできない集団討論の対策を、同じ自治体を目指す仲間たちと練習する機会を作っていただいたおかげで切磋琢磨しながら合格まで乗り越えることができたので、とても感謝しています。皆さんもぜひ教職支援センターを活用し、夢に向かって頑張ってください。

教諭
群馬県 公立中学校(英語)
窪 祐姫乃さん (令和4年度卒)

私は、幼稚園の頃から教員になりたいという夢を抱き続けていました。しかし、学力も思うように上がらず、あきらめてしまいたいと思う自分も出てくるようになりました。その時、教職支援センターの先生方に相談に乗っていただき、これからどのように勉強していったらよいのか見通しを立てることができました。周りには、あきらめた方がよいと声をかけてくる人もいる中で、教職支援センターの先生方はいつも前向きな言葉をかけ続けてくれました。



私は「決して諦めず努力していれば、不可能なことなどない」ということを教員採用試験から学びました。これから私と関わる生徒たちにもその諦めない心をもつ素晴らしさについて教えることができる教員になれるよう、頑張りたいと思います。

保育
教諭
高崎市 私立認定こども園
宮本 英奈さん (令和4年度卒)

私は、保育者になりたいという漠然とした夢しか持っていませんでした。また、コロナの影響でオンライン授業になった際には、モチベーションの低下から保育者という夢を諦めそうになったこともありましたが、しかし、いざ将来のことについて考えた時、思い浮かぶのは実習で関わった子どもたちの笑顔や丁寧にご指導して下さった先生方の姿で、その時に私は改めて将来の夢を再確認することができました。誰も夢を諦めそうになることはあると思います。そんな時は、今までの自分の経験を思い返してみてください。そして、教職支援センターへ行き、相談してみてください。きっと答えが見つかると思います。努力や経験は必ず味方になると思います。私は、4月から年中さんの担任を頑張ります!みなさんも頑張ってください!応援しています!



幼稚園
教諭
群馬県 私立幼稚園
樋口 愛奈さん (令和4年度卒)

私は、子どもの一人ひとりの思いや考えを大切にしたい保育者になりたいと考えていました。就職先を選ぶときに子どもがのびのびと過ごしているか、子どもの主体性を大切にしている園を中心に情報収集を行いました。集めた情報を基に合同説明会や多数の園見学や気になった園では数日間ボランティアに参加し、自分が納得できる園を決めました。なかなか自分に合う園が見つからず、悩むことありました。その時に教職支援センターの先生方と面談し、先生方の客観的な意見やアドバイスを頂き、「私は、どの方向に向くべきか」「何を大切にしたいのか」再確認することができました。これまでの学びを活かし、子どもと一緒に保育者として成長できるよう努力していきます。



教諭
群馬県 公立特別支援学校
澤田 紗希さん (令和4年度卒)

私は教員採用試験を受けるにあたって、今まで経験してきた受験とは異なる勉強の仕方に不安がありましたが、教職支援センターの先生方が行ってくださっていた一次試験対策講座で、教職教養や一般教養など幅広い出題範囲の要点をわかりやすく学ぶことができました。また、小論文対策においても、書き方の指導や添削などの面で多くのサポートをしていただき、苦しい小論文も自信をつけていくことができました。いつも親身になって相談に乗ってくださった先生方や、同じ目標に向かって一緒に頑張ってきた仲間はとても心強い存在でした。



今後は教員として、子どもたちの気持ちに寄り添った支援をしていけるように、日々のかかわりを大事にしていきたいです。